

第2回農林公園見直しに関する懇談会議事録

日 時	平成16年4月26日(月)午後2時30分～
場 所	農林公園研修室(温泉館B1)
出席者	委員側(11名): 藤本委員, 井熊委員, 山田委員, 増田委員, 大平委員, 菅野委員, 大塚委員, 山口委員, 高橋委員, 鈴木委員, 床井委員,
事務局	農務部長 他8名
発 言 要 旨	
	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員紹介(前回欠席者, 新規就任者, 今回欠席者) ・ 事務局員紹介(異動者) ・ 会長あいさつ <p>2 議事</p> <p>(1) 農林公園の改善・見直しの方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民パートナーシップの活用 ・ 民間能力導入による農林公園の新たな施設整備 ・ 管理運営と施設整備の一体的運用 ・ 想定される事業主体での見直しの可能性 <p>(2) その他</p> <p style="padding-left: 20px;">事務局から, 資料に基づき説明</p> <p style="text-align: center;">- 説明後 意見交換 -</p>
会 長	では, 議論を大きく2つに分けたいと思います。前半は参考資料1の補足と, 参考資料2と3のデータあるいは事実の確認。これに関するご質問から入っていきましょう。何かご不明な点等ございましたらお願いします。
井 熊 委 員	フラワードームが非常に入場者が落ち込んでいますが, これまでどのようなリニューアルを行っているのか。更新投資をしてきたのか。これは, そういう事が出来ていない結果なのか。また, もう少しお金をかけていけば入場者が増えていたのか。その辺についてどのように考えていますか。
事 務 局	フラワードームについては今まで維持・修繕・補修的なもので, 新たな施設整備は行っていません。
会 長	例えば, 入口ホールなどでの企画・イベント的なものについてはどうですか。
事 務 局	平成15年度につきましては, 5日間ほど世界蘭展を行い, 約6,500人の入場者がありました。好評でしたので, 今年も2週間ほど行う予定です。又その他につきましては写真展・絵画展を行いました。
会 長	平成15年度は47,000人とありますが, その6,500人を含めても減っているという事ですね。

山口委員	<p>広告宣伝費の約1,400万円は当初から比べて増えていますか。あるいは、大まかで結構ですが、どの様なところに公告を出していますか。</p>
事務局	<p>オープン当初から比べると相当減っています。主にマスコミ関係へのPR宣伝費,新聞やテレビ・ラジオなどのメディア媒体とパンフレットなどの宣伝経費です。</p>
山口委員	<p>入場者数の県内とか県外の分析はどうなっていますか。</p>
事務局	<p>入場者の内,5割が市内・3割が市外・2割が県外になっています。</p>
大平委員	<p>15年度は1,017千人,14年度は1,073千人とあります。多分14年度は世界蘭展かなどのイベントがあって入場者が多くなったのではないかと思うのですが,入場者数の把握はどのように行っているのですか。</p>
事務局	<p>入口にセンサーがありまして,出入りがありますのでセンサーの数を2で割っているものを基本として,その他イベントなどの入場者数や青空市なども加味しています。</p>
井熊委員	<p>平成14年度でフラワードームの入場者は落ち込んでいますが,公益部門は売上高に対して営業利益が8%から9%あります。公益部門の中でフラワードーム・クラインガルテン・学習農園・体験農園などありますが,フラワードームは入場者が落ち込んでいるが,他に比べると収益を上げているのか,それとも他のものが収益を上げているのか。公益部門でどこが収益を上げていると思われませんか。フラワードームは入場者が落ち込んでいるにもかかわらず,公益部門は営業ベースでは一応黒字ですよ。</p>
事務局	<p>営業ベースの考え方と少々違いまして,公益部門の考え方としまして,本来市が負担すべき業務である公益部門にいくら経費がかかるか。平成14年度の管理運営に3億4,500万円経費がかかる。本来はこれは市が負担すべきものですが,収入がありますから経費から収入を引いたものが市からの管理運営委託料2億9,200万円になっています。これは,最初に支出があってそこから収入を引いたものが毎年市が負担すべきものという計算をしています。この公益部門は収益は見込めないで,それにかかる経費は市が負担するという考え方でやっています。</p>
井熊委員	<p>営業利益と,経常利益がバランスしていないのは,経常利益に直した時にこれだけの営業利益を出していく必要があるから,委託料収入はこれだけ設定するという事ですか。損益をバランス化する為に市の委託料を設定しているという事であれば,どこかで収支がゼロになる所に合わせて委託料を設定しているわけですよ。営業利益が出ているという事は管理費としてこのくらい見込んでおけばバランス点だという事ですか。</p>
事務局	<p>決算は収益と公益を一本でやっていますので,あくまでもその内訳を示したものです。決算書ではあくまでも参考的なものでしかありません。</p>
井熊委員	<p>委託料収入は,入場者が多い時でも大体この金額なのですか。</p>
事務局	<p>当初から3億4,000万円から3億5,000万円で,その後も大体3億円です。</p>
井熊委員	<p>飲食委託部門と物販委託部門で営業委託料が右から入って左から出て行く数字になっていますが,委託料の算定はどのような形で行っていますか。</p>
事務局	<p>委託部門は,売上げは全て「ろまんちっく村」の収入になり,委託業者に対してばらつきはありますが最大で88%の営業委託料を払っています。差引き最大で12%が「ろまんちっく村」の純収入という事になっています。</p>

井熊委員	<p>最大12%というのは、例えば物販部門など経常ベースで960万しか出ていなくて本部部門の売上げ単位でやると、経常ベースでは赤字になりますよね。委託料でなぜそういう設定の仕方をしているのか。委託料率にしても根拠どうなっていますか。</p>
事務局	<p>直営ではありませんので、売上げの計上の仕方だと思います。実収入だけ計上する仕方もあると思います。この場合は、当初利用料金制度を上手く使えばという事がありまして、売上げを自らの収入に出来るという制度を使ったという事だと思います。今までの財団方式だと収入は市に入ってくるんですが、この場合は独立した第3セクターという形で自らの収入にしました。それで、その中から直営ではなくほとんど委託だったものですから、その計上の仕方として当時から原価で計上しています。委託料率については契約で決めています。</p>
山田委員	<p>参考資料2と3では目的が違うと思います。参考資料2に対する質問ですが、「ろまんちっく村」自体は営業利益が出ており黒字になっていますね。今回の狙いとするところは「ろまんちっく村」の利益を増やして市の管理運営委託料を減らすという事だと思うのですが、上がった収益を公益部門に投資なり利益処分が出来ない仕組みになっているのでしょうか。一体的な運営という事だと思いますが。従って、参考資料3で本部部門が出てくるという理解をしています、「ろまんちっく村」の収益を上げる議論をするのか。参考資料3のように、両方合わせたトータル収支で市の管理運営委託料をこの仕組みの中で減らす事を目指しているのか。どちらを目指しているのか理解しづらい。</p>
事務局	<p>資料は目安として公益と収益に分けていますが、目指しているのは公益も収益もトータルとして収益改善、あるいは採算性の向上という事です。トータルで収益改善が図れれば、結果として市の財政負担も軽減されると思っています。</p>
山田委員	<p>そこで少し気になるのが、参考資料3を見た時に収益部門の営業利益7,800万円で本部部門が営業利益マイナス8,800万円とあります。本部部門というのは「ろまんちっく村」の人件費という事ですね。</p>
事務局	<p>本部部門はいわゆる総務課・企画課両方に携わっている者の人件費や広告宣伝費などの共通経費で、公益と収益の両方に係わるものです。これが経費として8,800万円あるという事で、これを本来は公益と収益に割り振ると最終的に営業利益1,920万円が出るという事です。</p>
山田委員	<p>少しシビアな言い方をしますと、参考資料3で収益部門7,800万円の営業利益に対し、本部部門はマイナス8,800万円でマイナス1,000万になっています。これを改善することが大きな課題でもあるのですか。これがプラスになればなるほど公益部門の委託料が減る形になりますか。どのように資料を受け止めればいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>参考資料2から委託料の3億円が何に使われているのかというご質問ですが、委託料は収入と支出の関係から算出されます。参考資料2は内部で収益と公益に分けていますので、その仕組みをご説明するためのものです。参考資料3は、部門別損益を見ていただきたいという事で、公益と収益でそれぞれ部門毎に出しました。ただ、本部部門は本来分けるものだと思いますが、この場合分けたほうが正確性が図れると考えました。</p>
井熊委員	<p>先程言われたように民間事業者に移管していこうと思った時に、本来大きく3つの部</p>

	<p>門が出ますね。公益部門に新規投資と併せて適切な更新投資を行い集客力を上げていくところ、収益部門に投資をしていくところ、新しいところに投資していこうとするところ。その場合に何を目的にしているのかが重要です。参考資料3の収益を改善することが目的なのか、あるいは参考資料4の来園者を含め施設の利用者を確保していくのかでやる事が違うと思います。例えば、公益部門において委託料はこのままで更新投資に力を入れるのか、事業として目指していく方向が変わってきます。どこを目指していくかで民間事業者が変わってきます。例えば、参考資料3の収益バランスを改善するのであれば、投資はあまり得意ではないが、メンテナンスなどのコストを抑えることが得意なローコストオペレーションの民間業者が強くなるでしょうし、更新投資を踏まえてこの施設全体の魅力を上げていこうと思えば、投資事業が上手い業者が強くなります。前者と後者では性格が違いますね。そこで市の考えとしては財政支出は現状でしかたがないが、更新投資をやって、農林公園自体の魅力を落とさないようにしたいのか、あるいは財政負担を減らしたいということなのですか。</p>
事務局	<p>単に収益・採算性・経営改善がされればいいという事ではなく、やはり集客性も図らなくてはならないと考えています。単にコストの削減だけではなく、新たな設備投資・更新投資を行い、新たな魅力を作り、集客性も図らなくてはならないと考えています。</p>
会長	<p>議論が改善見直しの方に移ってきていると思いますので、データの確認はその程度にして、もう一つ資料を中心に、いまの井熊委員の議論も含みながら全体的にご発言いただきたいと思います。</p>
山田委員	<p>参考資料2で、平成12年度が営業利益・当期利益が唯一マイナスになっています。参考資料4で、平成11年度115万人の来園者があったが平成12年度に10万人減っています。減った分赤字が出たため、その規模に合わせて翌年度から事業費を抑えたという事かもしれませんが、平成12年に何か特筆すべき事があったのかどうか、分かれば今後の参考になると感じますのでお答えいただきたい。</p>
事務局	<p>平成12年度は、県内で緑化フェアが行われ農林公園も協賛会場という事でかなりのイベントを行いました。それほど入場者が増えなかった事が大きな原因です。</p>
山口委員	<p>井熊先生、私は経営の事には明るくないのですが、自治体がこのような施設を運営する場合は民間の決算の方法と違いますね。私はこの資料を見て直ぐは分からないのですが、民間に委託していこうというような方向が検討されているなら、民間ベースに数値を置き換えて数字を出す事は大変難しい事ですか。</p>
井熊委員	<p>出来ると思います。</p>
事務局	<p>毎年、法人としての決算は行っています。</p>
山口委員	<p>そうすると民間ベースではどこが赤字なのか、どこに経費が多くかかっているのか、それを解消したいのかというのを出すことは、そんなに難しくはないと思うのですが。</p>
事務局	<p>民間の商業法人ですから商業法人としての会計は行っております。</p>
山口委員	<p>先程からの説明で、市としては改修などに投資しなくても、委託料の3億円で経営ができていけばいいという事ですか。それが簡単に行かないのは、補助事業で整備したため赤字施設だといっても簡単にやめるわけにはいかないという事だと思うんですが。そう</p>

	<p>すると分解して考えて、フラワードームにはどれだけ負担がかかっているのか、というふうに解決していかないといけないだろうし、先程の広告宣伝費ですが4分の1なり3分の1減っているならば、もう少し広告宣伝にかければ10万人戻ってきて、それで委託料の3億が削減できるとは思いますが、軽減できるのであればいいのではないかと。ただ補助金の場合はあまり減価償却を考えていないので、その辺はこれから大変なことになると思いますが。そう考えていった上で民間業者がこれを引き受けてくれるのかというふうに考えていかないと、なかなか難しいような気がします。</p>
井熊委員	<p>この第3セクターの場合は管理運営だけを行っているので、資産はほとんど持っていませんよね。</p>
事務局	<p>資産はありません。</p>
井熊委員	<p>資産が無いので損益採算とキャッシュフローがほとんど同じになるような経営をしている。資産がないので、資産の更新リスクを含めて民間に移転するには、独自の検討が必要です。民間業者に移転する場合にそのようなところをどうするのかというのもある。管理・運営だけやっていって今度は民間が更新投資を行い、資産ができたかどうかという部分です。そこで民間に更新のリスクを負わせる場合に、これまでどれ程度更新をしてきたかという履歴が重要になってきます。現状の施設の状況などを明らかにしていく必要があります。例えばフラワードームの検査を依頼して民間に更新投資をさせる場合、自らキャッシュを起こそうと思えば税金分の倍稼がないと投資できないとおもいます。そういう意味で事業の方法をどうするのか、民間事業者に何をさせるのか。現在の3セクのように、資産を持たない経営をやらせるのか。</p>
事務局	<p>資料の1ページ、2ページにあるように、民間には見直しを含めた新たな施設整備と管理運営の両方をお願いするというイメージです。行政としての新たな整備はインフラ等の整備が中心となるかと考えています。民間には新たな施設整備、魅力ある施設作りと全体の管理運営もお願いしたいと考えています。</p>
増田委員	<p>まさに指摘されているように、新たな投資や魅力ある施設作りをしてこなかったから来園者などが落ちてきてしまったと思います。来園者は飽きてしまいます。平成12年頃をきっかけに全体的に落ちてきましたね。そこで今回の懇談会の主旨も集客を向上させるという事ですから、どんな施設作りを民間に投資させたらいいのか、ノウハウはないか、そのような意見を求めているという事ですね。先程の話ですと、緑化フェアの効果がなく、逆に売上げも減り大幅な赤字を出したという事ですね。他都市の農業公園の状況と比べると「ろまんちっく村」は仕掛けが少ないように思える。滋賀の農業公園は人集めをやっているように見えるし、緑のミュージアム「ハーベストの丘」を見ても来園者が体験できるようなものが「ろまんちっく村」には足りない気がします。消極的になってしまった気がするのですがいかがですか。</p>
事務局	<p>フラワードームもその他のところも設備投資はしていませんでしたので、その辺が問題だった気がします。</p>
増田委員	<p>今日はフラワードームを拝見しましたが、展示してあるだけで、ここに何の魅力があるのか疑問に感じました。来園者は一度見ると飽きてしまいますね。他都市の施設では</p>

	<p>期待させるものがあるようですね。そういうものが何も無い感じでした。また、最初はあったのかもしれませんが、花の名前など解説がありませんでした。私は山歩きが好きなのですが、今日もこの際なので木の名前を覚えようと思っても、樹木の名前など解説が少ないですね。案内がありましたが、子供に配慮したためか、ひらがなやカタカナが多いですね。できれば海外の方も含め4ヶ国語程度用いたらいかがでしょうか。実際に海外の人ははそんなにいらっしゃらないでしょうが、それに刺激を受けて興味を持たれることもありますね。お客さんを迎える楽しくなるような仕掛け、楽しめるような仕掛け作りの追加投資が無いと、飽きられてしまう。この懇談会の委員になってから外での評判を色々聞きましたが、農産物直売や温泉は良いが他の所はもう一つだという感じがしました。お客を引きつける仕掛けや企画がないのではないかという気がします。会議室の前ですら芝刈りなどにこれだけ手が入られているのは羨ましいです。</p>
山口委員	それは私も思います。民間に委託云々という話の前にもう少し自助努力するところがあるのではないかという気がします。
会長	フラワードームで、体験型や参加型という仕掛けにすることはのは難しいのでしょうか。水耕栽培は1度見れば終わりですからね。ただ設備的には相当の投資をされたのでしょうか。
山口委員	フラワードームはなかなか難しい面もあるのかもしれないですが、誘客の企画をいかに組むかという事です。
増田委員	あれだけの施設だったら誘客の仕掛けをすれば儲かると思います。
山口委員	広告宣伝費が3分の1から4分の1に落ちたという事ですが、何か企画をするのであれば広告宣伝費を元に戻すだけで少しは元に戻るのではないのでしょうか。
増田委員	私も広告が足りないと思います。
大平委員	平成15年度は入場者数は出ていますが、売上げの見込みはどうなんでしょうか。まだ決算が出ていないので難しいですか。横ばいくらいですか。
事務局	まだ決算が出ていないのではっきりはしませんが、多分横ばいか下がっているような形になると思います。
増田委員	このように施設が古くなったり、迷ったら市場を見るというんですね。マーケットリサーチです。来園者のターゲットがどこなのか。マスコミやメディアを使ってと言っていたが、例えばインターネットや何かを使ったとしてもこういう所に関心が無い人は見ても何とも思いませんね。子供が対象だとしたら、家族連れが対象だとしたら、どこに広告をするのか。そちらに経費をかけないと新聞に載せただけでは駄目だと思います。小学生が対象だとしたら教育委員会を通して学校全部を周るなど。例えば、化石園の化石を見に行くのは小学生くらいですね。子供はやったことが無い事にとっても感動を覚えます。「るまんちっく村」では何が狙いか、それに合わせて看板や広告などを出すべきだと思います。
事務局	家族連れやヤングファミリーが一番のターゲットになると思います。また、今日も四季の森にだいがお見えになっていましたが高齢やもターゲットなと考えています。
増田委員	家族で遊べる施設があるかという事ですが、私のところの例で言いますと家族向けで

菅野委員	<p>子供を相手にするテクモピアみたいなもの。土日は家族みんなに来て、親は温泉に入り子供は温泉にはあまり興味を持たないので、ゲームセンター遊ぶなどということです。また、そういう施設の連携や仕掛けが必要ではないかという気がします。</p> <p>参考資料2を見ますと、公益部門は最初から経費がかかるという事で整備したのではないですか。この中で大きく下がっているのはフラワードーム。これが一番の大きな課題ですね。それからもう一つ、ろまんちっく村の売上げが上がると収入が増えるという程度で、委託料は減らしても2億5,000万は、だまっけてもかかるという構造になっていますね。ですからこれから進むべき道というのは、市が最低でも2億5,000万を払わなくてはならないのを減らせというのか、「ろまんちっく村」の業績を更に拡大して収益施設使用料を拡大することによって、こちら側の負担を少なくするのか。どちらに今回の動機があるのかが明確に分からない気がします。赤字のところをこれから一体どうしていくのかということまで入れて議論するのか、それとも総体で見れば赤字になっているので触れないという事なのか。その辺のところは、今の段階では表を見ただけでは分かりません。それから3点目として、保養部門には当然減価償却を載せるべきですね。これだけ施設が古くなってきましたから、やはりリニューアルしなければならない。その場合は市の方でもう一度投資するのですか。建物を所有しているのは市ですから当然そうなりますね。かなり老朽化してきたから市の方でかなり費用をつぎ込まなければならないが、もうこれ以上つぎ込むことは出来ないで、全部どこかに委託したいという事も念頭ににあるのか。この3点だけ説明して下さい。</p>
会長	<p>先程の大平委員のご質問とも関係しますので、事務局の方で回答して下さい。</p>
事務局	<p>3点目の減価償却の話ですが、「ろまんちっく村」としては固定資産を持っていません。市の資産ですから決算上は引当金も含め減価償却が出てこないという事です。リニューアルについては、他の一般的な公共施設と同じように20年、30年後に再投資、改修という事で市が一般会計から通常は支出していく事になります。</p>
菅野委員	<p>こういったケースは、投資をしても採算が合わないで、民間にやってもらいたいという主旨ですか。それとも、自分たちで作ったものは時期がきたら自分たちでリニューアルをするという方向ですか。</p>
事務局	<p>2点目のご質問ですが、今後は公益と収益の部門で分けるのではなく、トータルで管理運営から設備投資まで民間にお願いできないか、そういう形での改善を図っていきたいと考えております。その場合に3億円の管理運営委託料をどこまで減らせるかという問題はありますが、その辺は民間業者が今後設備投資、経営改善をしていく中で明らかになってくるとは思います。今のところトータルで考えており、その中には施設の改修、リニューアルも含まれてくると考えています。</p>
菅野委員	<p>市の財産に民間事業者が建物を建てることは出来ないのではないのでしょうか。市の財産である温泉館などを取得しない限り、民間事業者が建て替えやリニューアルすることは難しいのではないですか。あくまでも所有している市がやらなければならない。建て貸し出すとかであればいいのではないのかと思います。</p>
事務局	<p>所有権の帰属の問題や負担割合などの問題はありますが整備することは可能であり、</p>

<p>床井委員</p>	<p>契約上の問題になると思います。</p> <p>今の話とは異なりますが、私は林業関係に従事しているため、それに関する事についてお話をしたいと思います。現在のろまんちっく村には、ほとんど手つかずの状態で購入した約7haの里山があります。市の農林振興課が山に対する認識を深める目的で、ボランティアを募集し250名程の登録があり活動を行っています。「ろまんちっく村」と「森林公園」でそれぞれ2回に分け、年に4回の林業教室を開催し、間伐や刈払いなどを行っており、参加した皆さんには喜んで来て頂いています。現在は雑木の素晴らしい山になっています。おそらく県内でも平地でこれだけの雑木があるのは見当たりません。南側に鶴舎があるこの雑木林を皆さんに歩いていただいたり、見ていただくなどの方法がとれたらいいのではないのでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>北側の保全林もボランティアの方がやられているのですか。</p>
<p>床井委員</p>	<p>そうです。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>事務局に案内して頂き、さわやか広場などの他に保全林も見ましたが、この中で印象的に思ったのが、さわやか広場はかなりの広さがあるが年に1.2回のイベントにししか使われていないようであり、逆に南側のクラインガルテンは埋まっており、大体同じ方が更新し利用しているとのこと。そのあたりを考えると、さわやか広場をクラインガルテンなどにし、もう少し有効に活用できれば、より多くの方が参加できるのではないのかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ハーブ園の管理はどこが行っているのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>「ろまんちっく村」で管理しています。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>初めて里山のほうにも入ったが、さわやか広場に関しても大変広く、なかがわ水遊園などにも一部ありますが、これだけの広さのものは少なく大変貴重だと思います。また、周りにこれだけの里山が2箇所3箇所と広がっているなかで、学校関係の子どもたちの体験やワークショップなどの利用法は何か考えていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>地元をはじめ市内の小学生を対象に、体験農園や摘み取り体験、親子教室等の体験メニューを行っています。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>フリーマーケットを行っていますね。</p>
<p>事務局</p>	<p>「さつき&花フェア」や「農林業祭」の時に行っています。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>施設の利用状況が国道293号線沿いに集中しているのではないのでしょうか。東側のゾーンには集客できる程の施設が少なく、こちらの方に人が動いていないような感じがします。施設内にせっかく集客しても回遊できない状況であれば、その施設が機能していないということではないのでしょうか。これだけの施設を皆さんが見ずに帰るのは非常にもったいないと感じました。体験センターや温泉館、地ビールレストランなどの施設があり、やり方は色々あるのではないかと思います。1つは独立採算についてもう少し考えていっても面白いのではないのでしょうか。施設を有効活用し、企画も色々行うなどやり方は知恵次第ではないのかと思います。先程委員方の意見にもありましたとおり、これだけの管理された施設はないと思います。また、温泉館の利用時間が非常に短く、朝の10時から夜の8時くらいまでに入館しないと利用できなようです。また、お風呂</p>

<p>事務局 大塚委員</p>	<p>は非常によくて、他の温泉に行くのであれば綺麗に管理されており、ここが一番いいのですが、温泉館の脱衣所が非常に狭くて苦情が多いように思え非常にもったいないと思います。脱衣所はお風呂の大きさを考えたら今の3倍から4倍の広さがないといけないと思います。お客様が実際に入りたくても入れない状態にあるのではないのでしょうか。また、県外のお客様から温泉に泊まりたいと言われるので、予約を入れると満室で取れない状態にあります。宿泊施設が1つのテーマだったと思いますが、大変少なすぎるのではないのでしょうか。お客様からクレームなどがあったのかは分かりませんが、これだけの施設であればもっと宿泊施設が整っていてもいいと思います。園内でも自転車の貸し出しなどをして自由に移動してもらってもいいのではないのでしょうか。また、フラワードームは段差が多すぎて、実際に年輩の方が歩いて周るのは無理ですので、もっと歩きやすいように工夫されてもいいのではないのでしょうか。フラワードームも今盛んであるガーデニングを取入れるなど、やり方によっては一般市民を巻き込んだ企画などがたくさんできると思います。現状では一度見たらもういいかなと思ってしまいます。フラワードームは車椅子で全部周ることができますか。</p> <p>フラワードームの中には階段がありますので全ては難しい状況です。</p> <p>私は仕事柄、広告宣伝費のほうに関心がいってしまうのですが、これだけの施設を有効活用して収益を上げるのであれば、先程から言われていますように広告の方をもう少し充実させた方がいいと思います。一般企業ではこういう施設であれば当然営業の担当者がいまして、私の会社のほうにも年中そういう方がみえて、年間のイベントの企画や売り込みをしていきます。そういうセクションの担当の方も必要ではないかと思えます。また、データでは来園者の5割が市内の方、3割が県外の方、2割が他県の方であり、40代～50代以上の女性が多く来園されていますが、先程はターゲットは家族連れを考えていると伝えてましたが、実際に入場されている方と一致していない部分もあるのではないのでしょうか。その辺りのリサーチが重要で、現実に来園されているお客様に即した広告宣伝やイベントがうまく合致しているかどうか、それによって入場者が増えるということもまだできるのではないのでしょうか。営業をするのも、近県なら近県とか、市内の利用者が殆どですから学校関係の利用者であれば学校の企画をしているところに行き行って利用者を増やすことが必要であり、先程他県の施設のデータが出てましたが、全国版のハウステンボスやスペイン村などとは意味合いの違う一種のテーマパークであると思うのですが、一番利用している市民に対して市民に密着したサービスがどこまで出来ているのか。宿泊施設があることは知らなかったのですが、利用する8割は近県からいらっしゃる方で、そういう方が、どういう目的で、宿泊を利用されるのか。ホテルなどは宇都宮市内にもありますが、「ろまんちっく村」の宿泊施設を利用される方はどういう目的なのかなどをリサーチし、ここから収入が上がらないのであれば思い切って宿泊部門は切り捨てるとか、収益があがらない部門は止めてしまうなど、開園以来行ってきた施設の見直しもやっていただけたらいいのではないかと思います。また、レストランやお食事の方でも収益が上がらない所であればもう少しアイデアを活かして、売上に貢献できるような所を極力保護した方がいいのではないかと思います。地ビールが</p>
---------------------	---

<p>会 長</p> <p>山 田 委 員</p>	<p>非常に目玉で好評でこれからも将来性があるということであれば、宇都宮は餃子で有名な所なので、おいしいおつまみをセットで味わえるようなアイデアとか、そういうものがあれば他県から観光バスが団体旅行で途中に立ち寄っていこうという時でも入り易いと思います。</p> <p>ありがとうございました。一通り意見を伺いました。次は可能性の検討ということなのですが、この資料に即してご意見がございましたらお願いしたいと思います。</p>
<p>事 務 局</p> <p>井 熊 委 員</p>	<p>市の方で公民パートナーシップと言う考え方をされていますが、この時にPFIであるとか、共同体、指定管理者制度等色々なキーワードをちりばめてありますが、例えば、公の公園と考えますと制約がありますので、ここから脱皮がなかなかできない事があると思います。例えば基本的なコンセプトは変えないで、さわやか広場等を含めてもっと大胆に農業そのものをビジネスとしてやりながら、全体の運営をしてもいいと言うくらいの所までのお考えはあるのか。それとも基本的にここで言っているのは、現在の仕組みを前提にして、できるだけ効率的な運営を目指して欲しいと言うお考えなのか。それは井熊委員からの課題提起にもありましたように、どちらの方向が分からない。この公民パートナーシップと打ち立てているのは、どの程度まで踏み出すお考えなのか。</p> <p>農業をテーマとしたテーマパークというような考え方ですから、花や水、生き物、食と農の体験施設、子供や家族・若者をターゲットとした施設整備、飲食、物販といったものの新たな設備投資、新たなビジネスとして取り組んで展開してもらえればという事で、農業をビジネスにしてということも含め、今の仕組みではなくという考えです。</p> <p>皆さんからは色々、経営改善についてご意見をいただきましたが、今の第三セクターの経営改善をやっていく考え方と、新しく民間企業を募ってやっていく改革と、この資料は多分後者に基づいてできているのではないかと思います。だとしたら今の第三セクターでやっていくと、こういう問題があるという部分を明らかにしておいた方が、方向性が立てやすいのではないかと。私が見ていて怖いと思うのは、あと2、3年すると10年経つので大きな更新投資がくることです。それを一体誰が背負うのかという所が今後の一つの課題になってきますので、新たな委託を考える背景をきちんと整理した方がいいのではとないかと思います。</p>
<p>事 務 局</p> <p>山 口 委 員</p> <p>事 務 局</p> <p>山 口 委 員</p>	<p>新たな更新投資という事で言いますと、温泉館を今後どうしていくのかと言うことが大きな問題になってくると思います。その辺もクアも含めたような形で今後抜本的な見直しが必要になってくるのではと感じています。</p> <p>今日は「ろまんちっく村」の関係者はいらっしゃっていますか？</p> <p>今日は市の関係者だけです。</p> <p>おそらく、担当の方は2、3年経つと変わってしまうので、この施設の経営をもう少し本当に考えるならば、その人達を含めて議論しないと話にならないだろうと思います。企画でも費用がかかる企画ではなくて、かからない企画を打ち出すことに慣れていないと、緑化フェアではないですが、お客様をまとめて取ろうと考えると、予算を付けないと仕事にならないと言うことはあります。そうではなくて、先に山田委員がおっしゃったように、今の状態で何が問題なのかという所をもう少し打ち出す事を考えられ</p>

<p>会 長 山 口 委 員</p>	<p>た方が、手っ取り早い気がするのですが。 今の状態で何が問題なのでしょう。</p>
<p>会 長</p>	<p>もう少し企画などを打ち出していけば、入場者数も取り戻せるのではないのでしょうか。それをやっていけば、どういう所が問題か自然に出で来るのではないかと思います。</p>
<p>山 田 委 員</p>	<p>事務局の方で検討していただけているとは思いますが、このままで、どこが問題かというあたりはいかがなものでしょうか。データの裏付け等もあるかと思いますが、更にそれを現体制で見直した場合の課題・可能性それから新たな体制での可能性ですね。この辺りの所をご検討いただければという事なのです。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>少しそれに関係したことですが、民間に委託をしてということと言った時に、現在の「ろまんちっく村」ではどういう制約があるのでしょうか。仮に私が民間事業者だとして、この委託に手をあげようかと思った時に、どんな制約があるのでしょうか。それで「ろまんちっく村」が第三セクターだからこういう結果なのだという事では必ずしもないと思います。色々な意味でのやり方を含めていって、上手くできる要素があるのかもしれない。しかし、できない要素もあるのかもしれない。そうだとすると、民間事業者として参加したとしても同じくその要素は一杯あって、例えば新しい施設をどうぞ作ってくださいと言ったって、土地の利用用途制限があって、こんな事考えても駄目だとかですね。例えば、それこそレジャー施設でこんなことやった方が人が来るんだと思ったら、それは駄目ですよというのは、当然色々な用途制限があったりと思うのですが。そういう部分で今の第三セクターでできない所ということでは言われていますけれども、もっと素直に言って、なぜ民間でやったらできるのか、なにかそういう制約はないのかというのを率直に出していただいたほうが分かり易いのではないかという気がします。</p>
<p>会 長 事 務 局</p>	<p>例えば、一般的に3セクという場合のデメリットというのか制約といいますか、どうしても公と民、公共性と収益性の両方を満たさなければならないという事で、運営・経営していく場合にも公共性に配慮しなければならないという所があると思います。それで、よく言われているのは責任の所在が不明確という所で、特に今までは、公の施設を維持管理しているのだという所での、管理受託というような制約というか重しのようなものがあつたのではないかと思います。今後は、民間の営利法人でもできるという事で、その辺の重しは取れて、自分で管理を代行でき、一定の権限を任されてやるという事での自由さというのがあります。それと基本的に土地利用の制約があるといった事はございません。それは、先ほど自由に設備投資も管理・運営も自由にやらせてもらうというような事がありますので、そういう制約という事ではなくて、農林公園の本来の趣旨とか目的に沿ったようなものであるならば、可能だろうと考えております。</p>
<p>菅 野 委 員</p>	<p>ここは農振農用地のままですか。 いいえ、開発行為については、市が開発事業者だったものですから、普通の開発行為の許可と同じような形で手続きは踏んでおります。</p>
<p>菅 野 委 員</p>	<p>参考資料5にある事項で、宇都宮市と滋賀県と安城市の施設は開設時期が平成8年から平成9年ですね。建設費で言うと、安城市と宇都宮市が約150億円ということでは</p>

	<p>ね。そこで一番大きな違いというのは入場料をとっているかいないかですね。入場料がとれないと言う事は、入場料が取れるものがないと言う事ですからこうなっているのでしょうか。一つだけ聞きたい事は、滋賀県や安城市は営業利益で採算が取れているのでしょうか。それからもう一つは、なぜこのような形で他の施設は入場料が取れるような施設ができたのに、宇都宮市は作れなかったのか。入場料を最初はとるという話で作ったようですが。これは今いる皆さんの責任ではないかもしれませんが、その辺りの分析もしなければいけないという話になりますよね。こういう形でこれだけの費用を投資して片方では営業利益が上がっているとすれば、なぜ同じ時期に同じように入場料を取ることができなかったのか。もちろん土地の買収やその広さが一番の原因だとすると、逆を言えばこれは失敗なのかなとそんな気がします。その辺りの所はどのようなのでしょうか。他の施設は同じように市がやっているのであれば、営業利益が上がっているのかどうか。2点目は、同じ様な施設を作った時になぜ同じことができなかったのか。もし分かるのであれば、少し意地悪な質問で申し分けないのですがお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>営業利益が上がっているかどうかということですが、例えば日野町では民間との共同事業ということで、管理・運営は第3セクターが一括して行っているのですが、日野町からの管理委託料の支出はなく、管理を受託している民間が全て自己責任でやっていると聞いています。安城市の方は財団が管理し、毎年4億から5億円の管理委託料がかかっており、経営に非常に苦慮しているため民営化に向けて検討していると聞いています。また、入場を無料にしている点ですが、当初は有料で検討していましたが、無料にしてたくさんの方に来園していただいた方が良いのではないかと政策的な判断があったためです。また、開園初年度は市政100周年事業の一環で無料にした経緯もありました。また、委託料の3億円ですが、入場料を取らなくなったため、必要な経費として入場料相当分を市が負担していくという経緯がありました。</p>
<p>大平委員</p>	<p>新たな魅力づくりという更新投資プラスコスト削減ということですが、入場者数も100万人という事で、私は健闘しているのではないかと考えています。やはりこれを増やすにはどうしたらいいのか、あるいは新たな魅力ある施設にするにはどうしたらいいのか、費用の問題も当然絡んできます。ただ1つ、前回の懇談会の意見の中で、さわやか広場の方に新しいものを造ると大きなリスクになる、なるべく反対側のフラワードームを何とかしたほうが良いのではないかと意見もありましたが、確かに今日フラワードームを見せていただきまして、1度見ると飽きてしまうのかなという感じはしています。あれをどうするのが一つの大きな問題でしょうし、今日はフラワードームで食事をしましたが、やはり皆さん第2駐車場に車をお停めになるので、第3、第4駐車場は非常に離れていまして、皆さん第2駐車場の周辺にいるような状況かと思います。前回は意見が出ましたが、さわやか広場の方に回遊できるような仕組みを前向きに考えると、やはり向こう側に何か目玉になるような施設をもっていったらというふうに考えます。それともう一つ、前回の意見の中に地ビールの話が出てきましたが、私も同じ銀行の中で、「ろまんちっく村」の地ビールの販売を何度かやりましたが、私も2、3度飲みましたけれど、非常に味が濃くて美味しいと思います。やはりPR不足ではないかと</p>

	<p>思います。あともう一つ、ハーブ園というのがありますが、県内の酒造メーカーが喜連川に植物園を持っています。そこは非常に立派な植物園で植物研究所もあります。例えばそのようなところとタイアップして研究施設を造っていくのも一つのアイデアとしてあるのではないかと思います。また同じく、地ビールも酒造メーカーと一緒に開発するなど、そういう検討も一つあるのではないかと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。他にご意見はございませんか。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>もう一つ、直ぐ近くに宇都宮で唯一の観光地の「大谷」がありますが、そことの連携が全くありませんね。せっかくこの辺にこられた方も、「ろまんちっく村」に來ただけで帰ってしまうと思います。例えば、「大谷」と「ろまんちっく村」をつなげるような手段を用意して、大谷の景観やその周辺の観光地としての魅力を活用し、連携を図っていったほうが良いと思います。</p>
<p>増田委員</p>	<p>アクセス手段としてバスは来ていますか。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>バス路線はあります。ただ、大谷経由路線は廃止になりました。</p>
<p>増田委員</p>	<p>バスの便はとても大きいですね。バス会社と組んで周辺地区を上手く回遊できると良いですね。また、乗用車での來園をあてにしている割には駐車場が少ないと思います。土日の一番混雑するときに不便を感じると次には行きたいと思わないとでしようから、他の施設が駐車台数3,000台ということは「ろまんちっく村」はバランスが取れていないと思います。先程言いましたとおり、広告費の問題とともに駐車場の台数にも問題があるのではないのでしょうか。その辺をチェックすると費用をかけなくても、今のところで改善の余地があるという気がします。</p>
<p>会 長</p>	<p>交通の問題も園内の回遊性の問題だけではなく、周辺との連携も検討したほうが良いということですね。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>一つの案として思ったのですが、「ろまんちっく村」以外の市の施設を土日だけでもバスで回遊させ、入場券を含めたチケットを売るというのがありますね。</p>
<p>山田委員</p>	<p>今、2007年頃に、団塊の世代が一斉にリタイアすることが一つのマーケットだと言われている中で、今のうちに的確な手を打てば、体験型農業ビジネスは可能性があると思うので、今の時期に手を打たないとこのまま埋もれてしまう、この時期に何か方向づけを上手くしていかなくはという市の心配は確かにあると思います。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>もう一つ付け加えて考えていただきたいのですが、これからは高齢化社会ですのでカートを利用するなど園内をくまなく散策していただけるような乗り物があるといいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは、まだご意見があるかもしれませんが次回へつなげていくということで、今回いただいたご意見を事務局の方で整理・検討することにしたいと思います。</p>
<p>～ 閉 会 ～</p>	